



越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2014年7月 No.17

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12
福岡総合行政センター 地域振興課内
TEL.0766-64-5333 FAX.0766-64-5344



★かさぼんこからお知らせ★ 菅田被害等にあつたら（土砂災害やイノシシ等の被害）連絡してにゃん（地域振興課 TEL.64-5333）。イノシシ被害には、緊急対策として電気柵を利用することができるにゃん。

笠骨職人 後継者育成

2013年12月～今年3月の4ヶ月間、城山孝理事・城山昭市さん・武田重夫さんが、木村会長と中嶋尋之さんからマンツーマンで笠骨づくりの指導を受けました。月に10日程講師宅に通い、角笠・富士笠・一文字笠など様々な笠骨づくりを習得しました。講師宅だけではなく自宅でも学んだ事を熱心に復習し、講師からは「合格点の製品ができるようになったが、満点には熟練が必要！」と厳しい指摘も。



「難しいが楽しい、今後も続けたい」と、意欲的な育成者達は、今年度も引き続き講師からの指導継続が予定されています。

熱烈歓迎！「越前・深江」との菅笠交流会

2013年11月9日（土）、「越前すげ笠を守る会」（福井県）、「大阪の深江菅田・菅細工保存会」と当保存会が福岡町に集結して菅笠交流会を開きました。総勢44名が、午前中は木村会長宅で笠骨製作と、赤尾節子さん宅で笠縫いの実演を見学しました。



昼食会を兼ねた交流会はロッジ山ぼうしで行われ、「私とスゲとの関係について」というテーマで参加者のそれぞれが一言コメントを発表。山ぼうしでの美味しい昼食とスゲ談義で会場は熱気ムンムンでした。

午後からは福岡歴史民俗資料館と笹島繁吉さんの菅田を視察しました。次回は「菅笠サミット」を開けたらと夢が膨らむ有意義な交流会でした。



初の「笠縫い製作技術者研修会」

「笠縫い製作技術者研修会」が、2013年12月22日(日)23日(月・祝)の二日間、福岡総合行政センターで行われました。これまではマンツーマン指導を中心としていましたが、集まって研修会を開くのはなんと初めて。暖房を入れるとスゲが乾燥して作業がしにくくなるので厚着をし、13名が参加しました。宮崎光子理事・笹



鳥かずさん・小崎澄子さん・宮崎久美子さん・山本百合子さん・中島栄子さんが講師として丁寧に指導し、スゲの下準備(スゲヨリ)から縫い付けまでの一連の作業を学びました。

越野裕さんは、10月に行われた笠骨づくり体験教室の時に製作した角笠の笠骨を持参し完成させました。

「笠縫いはとても楽しい! 今後も続けたい。」と意欲的な受講者もあり、今年度は笠骨づくりだけではなく、笠縫い育成にも力を入れて、マンツーマン指導を計画しています。



「NPO 法人 美しいやまがた森林活動支援センター」視察



1月21日(火)、遙々山形県南陽市「NPO法人 美しいやまがた森林活動支援センター」副理事長他3名が、菅笠づくりについて視察研修を行いました。山形県内80%の菅笠を生産している中津川地区で、菅草の栽培や笠づくり教室などを開いていますが、後継者不足が課題とのこと。「このままだと技術が途絶えてしまう。なくなってから慌てても遅いのです」と三森和裕副理事長。当保存会も同じ気持ちです。

午前中は木村会長宅で笠骨づくりの技、宮田絹子さん宅で笠

縫いの技を視察し、午後からは菅笠製作技術振興策や菅草栽培、後継者育成について意見交換を行いました。



★かさほんこの豆知識★

山形の笠縫い針は18~19cmもあるそうにゃん!
長いにゃーん!

なりきりパネルデビュー!

2013年8月4日(日)、リバーサイドフェスタの開会式に合わせ、実物の三度笠や市女笠を被って時代劇なりきり2ショットパネルがデビュー!!。

只今パネルの設置場所を検討中です。



スゲ栽培の労力を減らせ!



2013年12月3日、イグサ栽培をしている石川県小松市の宮本農産で、スゲ生産組合の城山孝会長を筆頭に、組合員や保存会事務局員等14名が、視察研修をしました。

全て手作業で行われるスゲ栽培の労力を減らす為に、イグサの植え付け機・刈り取り機・乾燥機等を参考にして本格的な機械化導入を検討中。5日には中山農産で中古のイグサ用刈り取り機で試験を行いました。今後は試験田などで刈り取りや乾燥を行ったスゲを、問屋や笠縫い職人の方に評価をしてもらい改善していく予定です。





干支スゲ午づくり教室

2013年12月14日(土)、公営バスのこぶし荘・山ぼうし線に乗って、会場のロジ山ぼうしへ！毎年大人気の「干支スゲづくり教室(昼食&温泉入浴付)」は、ピクニック気分で始まりました。講師の松平カヅミさんが22名に、針金の骨組みにスゲの巻き付け方・躍動感が出るタテガミの結び方、尾の付け方を指導しました。仕上げには新年らしくカラフルなスパンコールリボン等で飾り付けをしました。肉付きの良い午、凛々しい午、可愛い午…作った人が分るような午が出来上がりました。

「家の光 4月号 東海北陸版」の取材

J A購読誌「家の光 4月号」の取材が1月16日(木)上向田集会場でありました。カメラマンや新聞記者のシャッターを切る音が続く中、白い割烹着を着た宮崎光子理事・山崎時子さん・吉田都さん・笹島敏枝さん・笹島かずさん・小崎澄子さん・宮崎和子さん7名が、楽しく笠縫いを披露。「家の光」には4ページに渡り掲載され、菅笠の伝統について城山孝理事と山崎さん等がインタビューに答えています。ご覧になりたい方は事務局までお越しください！



菅笠の新たな魅力発掘！



高岡商工会議所青年部による「歴史体験ツアー」が、2013年10月14日(月・祝)に行われました。体験型観光をイメージした企画で、福岡町の散策と、

観光物産館研修室(福岡駅舎)では豆笠とコースターづくりを体験し、昼食は特産の鯉料理を味わいました。豆笠づくりの講師として、宮崎光子理事・向井美智子さん・笹島かずさん・小崎澄子さん・松平カヅミさん・大道悦子さん7名が参加者20名に指導。

子供達の集中力にはビックリ！時間が足りないほどでした。

小伊勢領公民館でスゲコースターづくり

3月11日(火)、小伊勢領公民館で高齢者の閉じこもり防止・地域の仲間づくりを目的とした「ふれあい・いきいきサロン」が開催され、参加者15名に事務局員がスゲのコースターづくりの指導をしました。



「井桁編みっちゃ、どうすんがけ」、「スゲ草の表ってどっちけ？」と、楽しくワイワイおしゃべりしていると…、笠縫い経験のある参加者を発見！即、笠縫い技術者を増やすため、早速連絡先の交換を行いました。



チューリップテレビの撮影

2013年9月25日(水)、チューリップテレビ「とやま匠の技」の撮影がありました。未来に伝えたい富山の職人の技をシリーズで紹介する番組で、菅笠作りの一連作業である、スゲ栽培(植え付け)を尾崎秋子さん、笠骨づくりを木村会長、笠縫いを子吉麗子さん・砂田幸子さん・前田キミ子さんが撮影に協力してくれました。尾崎さんは長靴を履かず靴下のまま菅田に入ること、子吉さん達は皆で楽しく笠を縫う様子等が、10月6日と10日に放映されました。



「福岡の菅笠保全対策委員会」発足



第一回 現状説明

2013年11月22日（金）に、菅笠製作技術の保全について様々な角度から検討するために「第一回 福岡の菅笠保全対策委員会」が高岡市役所で行われ、菅生産者・職人・問屋・学識者ら15名の委員と、文化庁の石垣悟調査官等4名のオブザーバーが出席しました。初めに高橋市長が「様々な角度から検討をいただき、施策に反映していきたい」と挨拶し、委員長には富山大学の古池嘉和教授が就き、菅笠の現状やスゲ栽培の機械化、職人の担い手不足、加工賃についての意見交換がありました。

第二回は2月28日（金）にUホールで行われました。東京都荒川区「荒川ふるさと文化館」野尻かおる館長の「伝統工芸技術の保存・普及・継承事業を中心として」についての講演後、ワークショップ形式で、委員を含む27名が4つのグループに分かれて“菅笠の需要と供給”について課題マップを作成しました。どのグループも供給側で加工賃やスゲ栽培の労力が主な課題となり、需要側では情報不足や菅笠の魅力不足等が挙げられました。今後は作成した課題マップに沿って対策案をまとめ、今年度末までに委員会から市へ最終報告します。



第二回 ワークショップ

笠縫い実演のお知らせ

「あらかわ伝統技術展」で笠縫い実演&スゲのコースターづくり体験を行います。皆様のご来場をお待ちしております！

期間：7月4日（金）～6日（日）10時～17時
※最終日は16時まで（入場無料）
会場：荒川総合スポーツセンター
（東京都荒川区南千住6-45-5）

北日本放送の撮影

2月27日（木）、小崎澄子さん宅で、神庭あゆみさんの北日本放送（KNB）による撮影取材がありました。

お二人は笠縫いの師弟の間柄。小崎さんがノズケを丁寧に指導する姿が3月6日に放映されました。神庭さんは緑のふるさと協力隊員として昨年4月から一年間、五位地区で田植えや、スゲ刈り・干しなどの手伝いをし、住民と関わりながら地域の活動を行いました。隊員任期後も五位で暮らし、地域と関わりながら様々な活動を行っています。



スゲ生産組合 栽培技術講習会



2013年9月20日（金）、スゲ生産組合による栽培技術講習会「苗取り」が土屋の山岸菅農さんのスゲ田にて行われました。「力を入れすぎると根がちぎれてしまう。簡単そうに見えて力加減が難しい」と事務局員が慣れない手つきで作業をしていると、スゲ

生産者代表でもある中島明理事は「足・腰・ネバリ！」と掛け声をかけながら、根を傷めないようにお手本を披露。スゲの苗取りを初めて行った本領菅農の村本さん達はとても手際が良く、あっという間に苗が山になりました。このスゲは、7月に刈り取ったスゲが成長したもので、ツノ（イカリともいう）が良く出ているものを選び束ねて、植え付けまでの間、乾燥を防ぐために用水路等の流水に付けて保管します。今回のスゲ苗は、本領菅農の菅田で植え付けが行われました。次回（刈り取り）は皆さんも参加してみませんか？



かさぼんこ再びモデルに！公営バス出発式



霰が降るととても寒い3月14日（金）、保存会マスコットキャラクター「かさぼんこ」をあしらった高岡市公営バス新車両の出発式がありました。福岡小学校への通学や高齢者の足として活躍します。



かさぼんこからメッセージ♪

にゃんと！公営バス新車両のナンバープレートは「29-51」ふくこい！幸福が来る、福岡に来るとい願いが込められているにゃん。福岡町特産の錦鯉をイメージしたデザインで、にゃんともメテタイにゃん！バスとすれ違ったらラッキー！、乗れば一日ハッピー！